

日 本 史 B

(解答番号 ~)

第1問 次の文章A・Bは、徳政令を手がかりとして日本経済の歴史を調べる課題に取り組んだ、高校生の元男さんと敏子さんとの会話である。この文章を読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 12)

A

元 男：日本経済といっても漠然としているけど、徳政令といえどとりあえず貸し借りの問題だから、これを調べてみようか。古代には出挙があったね。

敏 子：国家による公出挙と富農らの私出挙とがあって、高い利息が取られていたんだよね。とくに公出挙は、㉑農民にとっては一種の税のようなものだったらしいよ。

元 男：中世になって鎌倉時代には有名な㉒永仁の徳政令が幕府によって出されるけど、これは御家人救済政策といわれているよね。どんな人々の貸し借りに政治が関与してくるのかという問題は、それぞれの時代背景ともかかわって面白いテーマだね。

敏 子：徳政というのも、そもそも徳のある政治という意味だったのね。徳政が貸し借りの問題にかかわっているのは、中世ならではのことなのかなあ。

元 男：室町時代には徳政一揆もさかんになるからね。農民たちが、まさに徳のある政治として貸し借りを破棄するように、幕府に要求していったわけだ。

敏 子：さらに時代が進んで、㉓戦国大名や織田信長は楽市令を出すけれど、その中には、市場内で徳政令を適用しないことを定めた例もあるよ。徳のある政治だったはずなのに、なんか避けられているみたいだね。

元 男：でも、借金を帳消しにするばかりでは、お金を貸したからない人が増えるかもしれないよ。貸し借りをスムーズにするというのも、徳のある政治だったんじゃないかな。

問 1 下線部②に関連して、古代の人々の負担に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① 租はおもに諸国の倉に貯蔵された。
- ② 庸・調は女性のみ^に賦課された。
- ③ 正丁は雑徭を免除された。
- ④ 防人は胆沢城に派遣された。

問 2 下線部⑥の一部である次の史料に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 2

一、質券売買地の事

右、所領をもってあるいは質券に入れ流し、あるいは売買せしむるの条、御家人等^{たてい}(注1)の基なり。^{きようこう}向後においては、^{ちようじ}停止に従うべし。以前^{こきやく}沽却^(注2)の分に至りては、^{ほんしゆ}本主^(注3)をして^{りようしやう}領掌^(注4)せしむべし。ただし、(中略)知行二十箇年を過ぐるは、公私の領を論ぜず、今さら相違あるべからず。(中略)
永仁五年七月二十二日

(『東寺百合文書』)

- (注1) 侘僂：困窮 (注2) 沽却：売却
(注3) 本主：本来の持ち主 (注4) 領掌：領有して支配すること。

X 御家人が所領を質に入れたり売却したりするのは、御家人が困窮する原因だから、今後は禁止するとした。
Y 御家人が売却した所領は、買った側が20年以上知行していても、取り戻すことができるとした。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

日本史B

問 3 下線部㉔に関連して、戦国時代から安土桃山時代にかけての政治・経済について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

3

- ① 自治都市として知られる堺では、会合衆が市政を運営した。
- ② 天文法華の乱で法華一揆が京都を占領し、約8年間自治を行った。
- ③ 織田信長は、近江の琵琶湖畔に安土城を築いた。
- ④ 豊臣氏は、主要鉱山を直轄化して、天正大判を鑄造させた。

B

- 元 男：近世に徳政令が出されたというのは聞いたことがないけど、実際には大きな政治改革の中で、貸し借りの問題も取り上げられているようだよ。
- 敏 子：8代将軍徳川吉宗が進めた享保の改革では、金銀の貸し借りの訴訟を当事者の中で処理させる **ア** が発令されている。
- 元 男：大名に貸付けを行う商人も現れているし、農民の中でも貧富の差が広がってきたようだから、貸し借りの問題は深刻化していたんだろうね。
- 敏 子：その後の④寛政の改革では、棄捐令が出されているよ。旗本や御家人の俸禄米を幕府から受け取り、売却していた **イ** が彼らに貸し付けたお金を、帳消しにしたものだよね。これってほとんど徳政令じゃない？
- 元 男：まあまあ、そう急がずに。でも、時代もまったく違うというのに、同じような法令が出されているわけで、どこが同じでどこが違うのか、今後考えていきたいところだね。それで、近代はどうだろう？
- 敏 子：近代になると⑥銀行が登場するから、貸し借りの問題はいっぺんにスケールが大きくなるような感じがするよね。
- 元 男：たしかに銀行だと、もはや貸し借りというよりは金融といわないと格好がつかない感じだね。金融の問題は一方では国際的な規模になって、徳とは縁がなくなっていくみたいだ。
- 敏 子：でも、保険や年金のように、資金を融通しあって助け合おうという慣行は現在も残っているよ。民衆の世界では、貸し借りは単なる経済的行為ではないという考え方がまだ息づいているんじゃないかなあ。
- 元 男：貸し借りの問題の背後には、各時代の人々の意識も見え隠れするようだ。これなら僕たち、経済だけじゃなくて政治や思想の歴史もやったことになるんじゃない？ 徳政令からはじめて、思わぬところに行き着いたね。

日本史B

問 4 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 喧嘩両成敗法 イ 札 差
- ② ア 喧嘩両成敗法 イ 蔵米取
- ③ ア 相对済し令 イ 札 差
- ④ ア 相对済し令 イ 蔵米取

問 5 下線部㉑に関連する人物について述べた次の文X・Yと、それに該当する人名a～dの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X この人物は、寛政異学の禁で朱子学が正学とされることに大きくかかわり、湯島聖堂の学問所(昌平坂学問所)で活躍した。

Y この人物は、洒落本の代表的な作者で大いに人気を集めたが、寛政の改革の取締りで処罰された。

a 富永仲基 b 柴野栗山 c 為永春水 d 山東京伝

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
- ③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問 6 下線部㉔に関連して、明治期の経済に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

Ⅰ 国立銀行条例が制定され、第一国立銀行が設立された。

Ⅱ 中央銀行として、日本銀行が設立された。

Ⅲ 清国からの賠償金にもとづき、金本位制が確立した。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ

② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ

④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ

⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史B

第2問 原始・古代の政治・社会・文化について述べた次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 18)

A 道具の形や大きさの変遷は、それが用いられる社会の変化と深くかかわっている。弓矢に用いられる矢じり(鏃)もその一例である。㉓ 弓矢の本格的な使用は縄文時代に始まり、打製の石鏃が用いられた。弥生時代以後に比べると小型で、おもに狩猟を目的とするものであった。北海道の白滝や長野県の和田峠などで産する で作られた石鏃が、各地で出土している。

弥生時代になると重くて鋭い金属製の矢じりが現れ、大型化した石鏃も使われた。これは弓矢が、人を殺傷する武器としても用いられはじめたことを示す。 などから戦争で傷ついたと推測される人骨が見つかることも、武器としての弓矢の使用を裏づける。さらに古墳時代に入ると、鉄鏃が主流となり、大型化も進む。㉔ 古墳時代中期には、大量の鉄鏃が副葬された古墳も現れた。

このような弥生時代以後における矢じりの変化は、弓矢を用いた戦闘の激化と、それを引き起こした集団間の対立関係が社会に生じていたことを示している。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | | |
|---|---|-------|---|-----|
| ① | ア | 黒曜石 | イ | 群集墳 |
| ② | ア | 黒曜石 | イ | 甕棺墓 |
| ③ | ア | サヌカイト | イ | 群集墳 |
| ④ | ア | サヌカイト | イ | 甕棺墓 |

問 2 下線部㉓に関連して、旧石器時代から縄文時代への変化に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 8

X 気候の寒冷化にともなって針葉樹林が広がり、ナウマンゾウやヘラジカなどの大型ほ乳動物が姿を消した。

Y 朝鮮半島から移り住んできた人々によって、水稻耕作とともに縄文土器がもたらされた。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

問 3 下線部㉔に関連して、この時期の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① 倭の五王が、中国南朝の宋にそれぞれ朝貢した。
- ② 卑弥呼の使者が、楽浪郡を介して後漢の都へおもむいた。
- ③ 稻荷山古墳出土の鉄剣が、高句麗王から倭王へ贈られた。
- ④ 倭国と友好関係の深い渤海が、新羅に併合された。

日本史B

B 次の史料は、10世紀初頭に作成された三善清行の「意見封事十二箇条」の序論で、朝廷の財政状況が悪化した過程と原因について述べている。

すでにして **ウ** の代に仏法はじめて本朝に伝え、推古天皇より以後、この教さかんに行わる。(中略)降りて **㊦** 天平にいたりて、いよいよ尊重をもつてす。(中略)ここに天下の費、十分にして五(注1)。

桓武天皇にいたりて都を **エ** に遷したまうに、製作(注2)すでにおわりて、さらに上都(注3)を営む。ふたたび大極殿を造り、新たに豊楽院(注4)を構う。(中略)ここに天下の費、五分にして三(注5)。

清行は、これに続けて国家の歳入の問題を取り上げ、財政悪化の要因が、課税対象として把握された成年男子の減少にあると指摘する。戸籍・計帳の制度が実質を失い、班田収授の実施も困難になるなど、9世紀を通じて、律令に即した国家運営の維持が難しくなる事態が進行していた。そして10世紀初頭以後、**㊦** 中央および地方において、新たな統治の仕組みがしだいに形成されていった。

(注1) 天下の費、十分にして五：天下の富の半分(10分の5)が費やされたということ。

(注2) 製作：ここでは造都を意味する。

(注3) 上都：みやこ。ここではさらに新造された都を指す。

(注4) 豊楽院：儀式や宴会に用いられた、宮内の大規模な施設。

(注5) 五分にして三：残った半分(10分の5)のうちの5分の3が、さらに費やされたということ。

問4 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

- ① ウ 欽明天皇 エ 紫香楽
- ② ウ 欽明天皇 エ 長岡
- ③ ウ 孝徳天皇 エ 紫香楽
- ④ ウ 孝徳天皇 エ 長岡

問 5 下線部㉔に関連して、次の仏像Ⅰ～Ⅲについて、制作年代の古いものから順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 11

Ⅰ

Ⅱ

この部分につきましては、著作権の関係で公開できません。
(平等院鳳凰堂阿弥陀如来像の写真)

この部分につきましては、著作権の関係で公開できません。
(法隆寺金堂釈迦三尊像の写真)

Ⅲ



- | | | | | | |
|---|--------------|---|--------------|---|--------------|
| ① | I — II — III | ② | I — III — II | ③ | II — I — III |
| ④ | II — III — I | ⑤ | III — I — II | ⑥ | III — II — I |

問 6 下線部㉕に関連して、10世紀の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 墾田永年私財法を契機に、貴族や寺社の所有する多くの荘園が成立した。
- ② 多くの軍団が廃止され、それに代わり国ごとに衛士が置かれた。
- ③ 課税単位の名を田堵に請け負わせる徴税法が、行われるようになった。
- ④ 公領(国衙領)の収益を知行国主に与える知行国の制度が広がった。

日本史B

第3問 中世の経済・貿易・産業に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

A 歴史における貨幣は、時代や社会の特徴を映しだす鏡である。律令体制の動揺をうけ、10世紀なかばの **ア** を最後に、国家による銅銭の発行は途絶した。ただし、これらの銅銭は通用範囲がそもそも限られており、おもに絹・布や米などの現物が貨幣としての役割を担っていた。ところが、12世紀なかば、
① 平氏による貿易振興策などで中国銭が大量にもたらされるようになると、以後、日本では銅銭の貨幣としての流通が本格化していく。

1270年代に元が銅銭げんの使用を禁ずると、中国で無用になった銅銭が大量に日本に流入してきた。その結果、日本における銅銭流通がさらに進み、現物ではなく、その換算額を年貢として荘園領主に上納する **イ** が広まった。やがて、銅銭に対する需要が急速に高まったこともあり、14世紀には早くも供給が追いつかなくなる。② 後醍醐天皇の貨幣発行計画は、結局実現をみなかったものの、価値の上昇した銅銭を発行することで財源が得られると期待したのもであった。

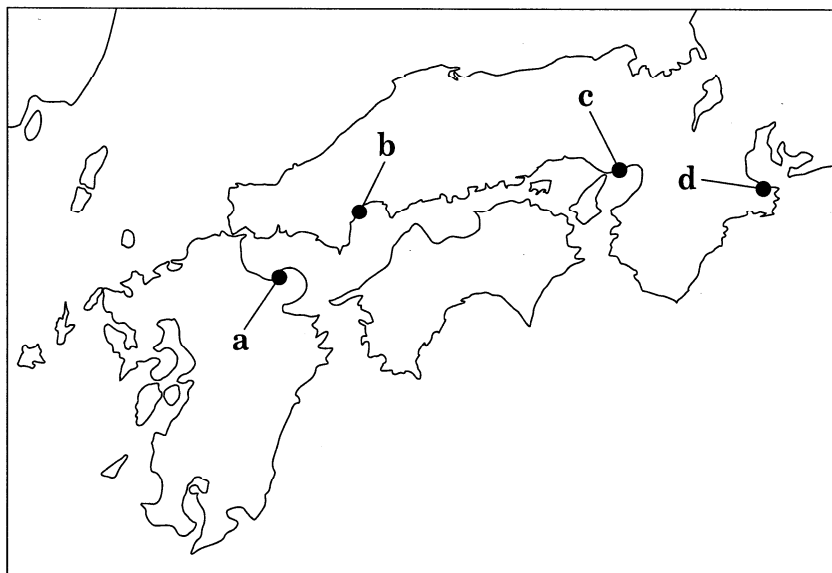
問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **13**

- | | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|-----|---|---|------|---|-----|
| ① | ア | 永楽通宝 | イ | 貫高制 | ② | ア | 永楽通宝 | イ | 代銭納 |
| ③ | ア | 乾元大宝 | イ | 貫高制 | ④ | ア | 乾元大宝 | イ | 代銭納 |

問 2 下線部②に関連して述べた次の文X・Yと、下の地図上の位置a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 14

X 平清盛一族があつい信仰を寄せたこの神社には、彼らの発願により作られた装飾経が伝えられている。

Y 平氏による日宋貿易の拠点とされたこの地では、貿易船が支障なく入港できるように港湾の整備が行われた。



- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — a | Y — c | ② X — a | Y — d |
| ③ X — b | Y — c | ④ X — b | Y — d |

問 3 下線部①に関連して、建武の新政における政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 大内裏の造営を計画した。
- ② 諸国の国衙にそれぞれ雑訴決断所を設置した。
- ③ 足利尊氏を征夷大將軍に任命した。
- ④ 京都の酒屋・土倉から棟別錢を徴収した。

日本史B

B 日本での生産が不可能、もしくは困難な物品は、㉔海外との貿易に頼らざるをえなかった。舶来の品々は、中国からの輸入品を中心に唐物とよばれ、各方面で珍重された。

室町時代では、中国からの生糸や絹織物、朝鮮からの木綿が代表的であった。

㉕日中間の貿易に幾度も参加したことがある商人は、金箔で文様をあしらった絹織物であれば、たとえ端切れでも貴重なのでぜひ輸入すべきだと語っている。

また、貴族社会や寺院で利用され、明・朝鮮へも再輸出された沈香や胡椒、蘇木など東南アジアの物産は、もっぱら琉球経由で日本にもたらされた。

唐物の代替品を生産する試みは、15世紀末ごろから徐々に本格化していく。

㉖有力守護らが東西に分かれて戦った応仁の乱ののち、朝廷や幕府の庇護を受けた職人たちが西軍陣地跡に住みつき、絹織物を生産するようになった。これが西陣織の起源とされている。また、三河などで木綿の栽培が普及すると、戦国動乱のなかで需要の高まった兵の衣料や鉄砲の火縄などに使用された。

問 4 下線部㉔に関連して、15世紀の日本の貿易品目に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

X 朝鮮への主たる輸出品は、金および銀であった。

Y 明への主たる輸出品は、刀剣類であった。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 5 下線部㉑に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

- Ⅰ 足利尊氏・直義兄弟が、天竜寺の造営費を得るために貿易船を派遣した。
- Ⅱ 大量の日本銀が、後期倭寇などによって中国大陸へもたらされた。
- Ⅲ およそ 20 年間断絶していた勘合貿易が、足利義教によって再開された。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ
- ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 6 下線部㉒に関連して、応仁の乱およびそれ以後の状況について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 管領家の赤松氏や将軍家の家督継承問題が、乱の勃発^{ぼつぱつ}を招いた。
- ② 細川勝元が東軍を主導し、山名持豊(宗全)が西軍を主導した。
- ③ 禅僧の桂庵玄樹が島津氏に招かれ、薩南学派の基礎をつくった。
- ④ 京都が荒廃し、地方の戦国大名のもとに身を寄せる公家が現れた。

日本史B

第4問 近世の政治・学術に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 17)

A 豊臣秀吉が **ア** を出して以後、天下統一が進むにつれて、キリスト教を邪教とみなす傾向が強まった。① 徳川家康は、当初キリスト教の禁止を徹底することなく貿易を振興する立場をとったが、のちにキリスト教の禁止を明確に表明するようになった。秀吉と家康に共通するのは、キリシタン弾圧と貿易振興を別個の課題としたことである。

家康の死後、2代将軍徳川秀忠と3代将軍家光は、禁教と貿易統制をまとめてとらえるようになり、国内外にさまざまな影響をおよぼした。対外的には、1620年代なかばに **イ** 船の来航を禁止した。1630年代には、日本人の海外渡航と在外日本人の帰国も認められなくなり、やがてポルトガル船の来航も禁止された。また、貿易統制のほか情報統制なども行い、異国船が長崎に入港した際、キリスト教関係の書物や物品を国内に持ち込ませないようにした。一方、国内に住む人々へは、宗教統制を徐々に強化し、② 4代将軍徳川家綱のころには、宗門改めが全国的に制度化され、宗門改帳(宗旨人別帳)が作成されるようになった。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **19**

- | | |
|------------------|---------------|
| ① ア バテレン(宣教師)追放令 | イ イギリス |
| ② ア バテレン(宣教師)追放令 | イ スペイン(イスパニア) |
| ③ ア 神仏分離令 | イ イギリス |
| ④ ア 神仏分離令 | イ スペイン(イスパニア) |

問 2 下線部㉓に関連して、17世紀前半の金融・商業について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 幕府は江戸に銅座を設けて、秤量貨幣である寛永通宝を鑄造した。
- ② 朱印船貿易で巨大な富をつくった三井家は、大名貸を行った。
- ③ 長崎の商品を取り扱う商人は、大坂で十組問屋を結成した。
- ④ 幕府は特定の商人に糸割符仲間をつくらせ、輸入生糸を一括購入させた。

問 3 下線部㉔に関連して、徳川家綱の將軍在職中における出来事に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

- X 生田万が牢人などを集めて、幕府の転覆を企てた慶安事件が起きた。
 Y 死んだ主君のあとを追って、家臣が殉死することを禁止した。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

日本史B

B 次の史料は、オランダ通詞(オランダ語の通訳)として活躍した人物に関して述べたものである。

史料 昔、㉔長崎にて西善三郎はマーリンの釈辞書(注1)を全部翻訳せんと企てしと聞きしが、手はじめまでにて、事成らず(注2)と聞けり。明和・安永のころにや、本木栄之進(注3)という人、一二の㉕天文暦説の訳書ありとなり。その余は聞くとおころなし。この人の弟子に㉖志築忠次郎(注4)といえる一訳士(注5)ありき。性(注6)多病にして早くその職を辞し、他へゆずり、本姓中野に復して退隠し、病をもって世人の交通を謝し(注7)、ひとり学んで専ら蘭書に耽り、群籍(注8)に目をさらし、その中かの文科の書を講明(注9)したりとなり。

(杉田玄白『蘭学事始』)

(注1) マーリンの釈辞書：Pieter Marin の蘭仏・仏蘭大辞典

(注2) 事成らず：実現できなかった。

(注3) 本木栄之進：英之進。名は良永。『天地二球用法』などで、はじめてコペルニクスの地動説を紹介した人物。

(注4) 志築忠次郎：志筑忠雄

(注5) 訳士：通訳

(注6) 性：生まれつき

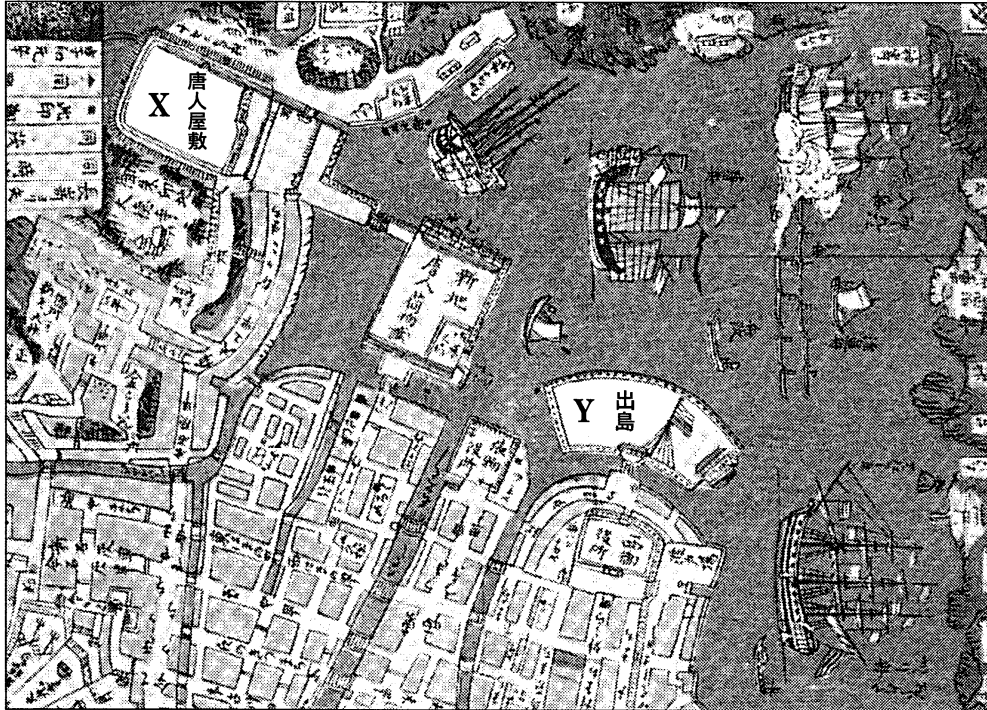
(注7) 世人の交通を謝し：世間の人との交際を絶つこと。

(注8) 群籍：多くの書籍

(注9) 講明：研究して明らかにすること。

問 4 下線部㉔に関連して、次の絵図にみえる施設X・Yに関して述べた下の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

22



- a Xは、中国との間で結ばれた己酉約条によって造られた。
- b Xは、日本人と雑居していた中国人を隔離するために造られた。
- c Yは、当初ポルトガル人を収容するために造られた。
- d Yでは、将軍の代替わりごとにオランダ風説書が作成されていた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史B

問 5 下線部㉑に関連して、海外の学術・情報に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 23

- Ⅰ 渋川春海(安井算哲)が、貞享暦をつくり、幕府の天文方をつとめた。
- Ⅱ 将軍徳川吉宗が、青木昆陽にオランダ語を学ばせた。
- Ⅲ 林子平が、『海国兵談』を出版し、幕府に処罰された。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 6 下線部㉒の人物に関して述べた文として誤っているものを、前々ページの史料も参考にしながら、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① ケンペルの著書『日本誌』の一部を訳し、「鎖国論」と題した。
- ② ニュートンの力学などを紹介した『暦象新書』を著した。
- ③ 病のためにオランダ通詞を辞めたが、蘭学の研究は続けた。
- ④ 寒暖計やエレキテルを製造し、科学技術の発展に貢献した。

日本史B

第5問 明治期のジャーナリスト・労働運動家である横山源之助に関する次の文章を読み、下の問い(問1～4)に答えよ。(配点 12)

横山源之助は1871年、富山県の魚津町に生まれ、小学校卒業後、醬油店^{しょうゆ}で奉公した。富山中学校に入学したものの、1年で突然上京した。政治家になることを志望したが、夢破れて、放浪生活に入って行く。そのなかで、㉔文学者やジャーナリストから強い影響をうけ、文学や社会問題に関心を抱くようになった。

横山は㉖日清戦争のさなかに、島田三郎が経営する新聞社に入社した。そして、㉗戦争や資本主義化の進行がもたらす都市や地方社会の矛盾・惨状を、文学的ルポルタージュの手法で記録しつづけた。1899年には、『**ア**』および『内地雑居後之日本』を著している。また、農商務省の工場調査にも囑託として起用された。この調査の報告書が、1903年に同省の手で編まれた『職工事情』である。

一方、実際の労働運動においても、高野房太郎・片山潜らの**イ**に関係し、のちには大井憲太郎の大日本労働団体連合本部にも参加した。その後、社会・労働問題解決のため移民事業に関心を抱き、1912年、ブラジルへ渡航した。しかし、帰国後に健康を害し、1915年、東京小石川で亡くなった。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

- | | | | | |
|---|---|---------|---|---------|
| ① | ア | 日本之下層社会 | イ | 日本労働総同盟 |
| ② | ア | 日本之下層社会 | イ | 労働組合期成会 |
| ③ | ア | 貧乏物語 | イ | 日本労働総同盟 |
| ④ | ア | 貧乏物語 | イ | 労働組合期成会 |

問 2 下線部㉔に関連して、明治期の文化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

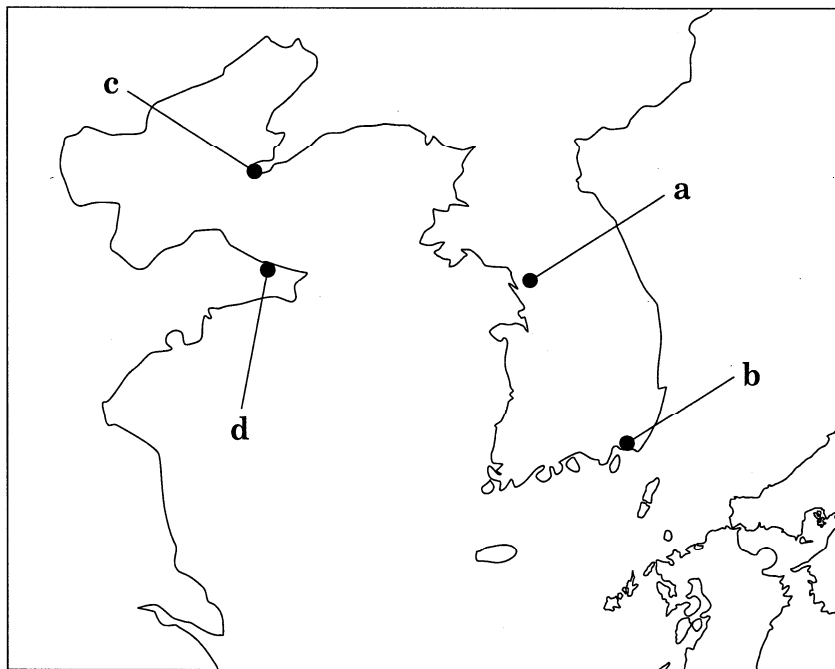
- ① 中村正直は『人権新説』を、西周は『自由之理』を、それぞれ訳述した。
- ② 近世の瓦版かわらばん(よみうり)の伝統を継ぐ大新聞に対して、政治評論中心の小新聞が現れた。
- ③ 岡倉天心やフェノロサは、東京美術学校の設立に尽力した。
- ④ 二葉亭四迷は写実主義こそ重要だと主張し、平易な口語で『小説神髓』を著した。

日本史B

問 3 下線部⑥に関連して、日清戦争前後の東アジア情勢にかかわる都市について述べた次の文X・Yと、その都市の所在地を示した下の地図上の位置a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

X 1882年、朝鮮で、反日感情を高めた軍隊と民衆が、この都市にある日本公使館を襲撃した。

Y 日清戦争後、日本は下関条約により、この都市のある半島の割譲を受けたが、三国干渉によって中国に返還した。



- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — a | Y — c | ② X — a | Y — d |
| ③ X — b | Y — c | ④ X — b | Y — d |

問 4 下線部㉔に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 紡績女工は、昼夜2交代の長時間労働や劣悪な労働環境により、健康を損なうことが多かった。
- ② 足尾銅山の鉱毒が渡良瀬川沿岸の住民や農業などに深刻な被害を与えたのははじめ、鉱山業の発展が公害問題を生んだ。
- ③ 小作人に転落する自作農が増加する一方、大地主が耕作から離れて小作料収入に依存する寄生地主となった。
- ④ 政府は、社会運動を取り締まるため、労働組合法を制定して労働者の団結権・争議権を制限した。

日本史B

第6問 近現代の日本をめぐる人の移動に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 23)

A 開国以後、欧米や中国の人々が貿易などのため日本に来航する一方、日本人も海外へと渡り始めた。そのなかでは、留学を目的として海外へ渡航する者が少なくなかった。たとえば後年に憲政会総裁として護憲三派内閣を組織した は、1883年から85年までイギリスに留学している。

労働力としての移民は、1868年のハワイ移民を皮切りに1880年代なかばに本格化し、南北アメリカなどへ広がった。彼らはおもに出稼ぎを目的としたが、やがて現地に定住していく。しかし20世紀初頭に急増した日本人移民は 現地で排斥されることもあり、移民は外交関係が緊張する一因となった。

19世紀末以降に日本が新たに領土とした台湾・ ・朝鮮や、日本が鉄道利権を得た満州にも、開発や商業などの機会を求める人々が日本本土から移住した。また逆に、朝鮮や中国などから日本本土に移住する人々もいた。このような双方向の移住から生じた 日本人と近隣地域の人々との接触は、しばしば差別や衝突を生み、日本に対抗する民族自決の意識を高める結果ともなった。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 加藤高明 イ 南樺太 ② ア 加藤高明 イ 沿海州
③ ア 若槻礼次郎 イ 南樺太 ④ ア 若槻礼次郎 イ 沿海州

問 2 下線部④に関連して、明治末期から大正期にかけての外交問題に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 30

- Ⅰ 石井・ランシング協定で、日本は中国の領土保全・門戸開放を認め、アメリカは日本の中国での特殊権益を認めた。
- Ⅱ 南満州の権益をめぐる対立や、サンフランシスコで日本人学童が排斥される事件などから、日米関係が悪化した。
- Ⅲ 国際連盟の設立にあたって、日本は連盟の規約に人種差別撤廃条項を入れるよう要求した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ
- ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 3 下線部⑥に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 31

- X 関東大震災の際に、一部の官憲や自警団が朝鮮人・中国人を殺害した。
- Y 台湾人・朝鮮人は、日本語で教育を受けることを禁止されていた。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

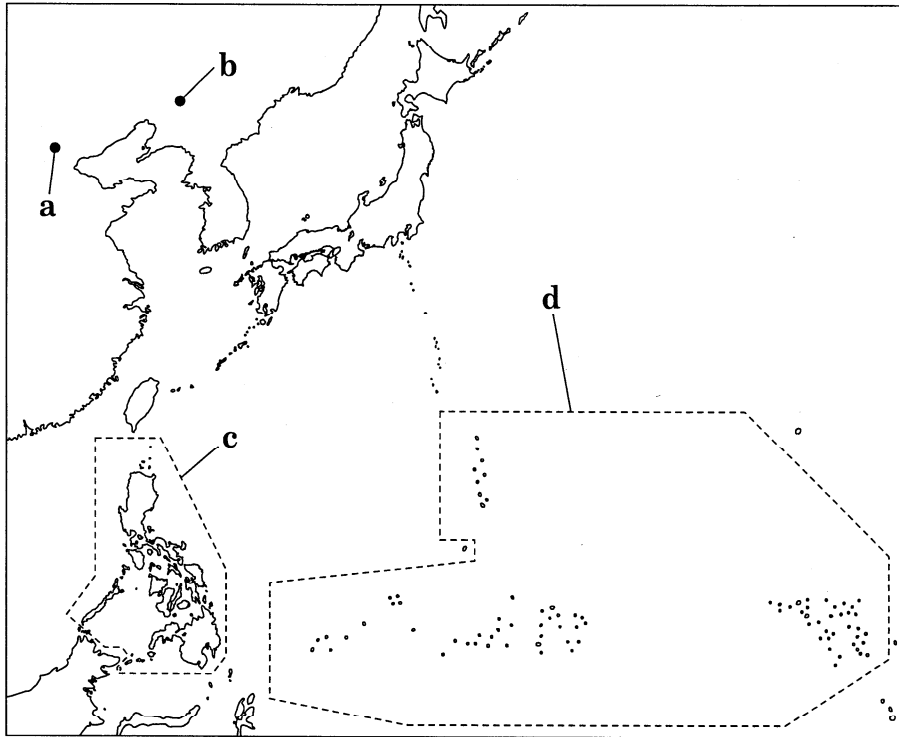
日本史B

B 1924年にアメリカで排日移民法が制定され、日本からの新規の移民が禁じられると、国外移民の主な行き先は南米に変わった。㉔1935年に第1回芥川賞を受賞した石川達三の『蒼氓』^{そうぼう}は、神戸からブラジルへの移民輸送船に同乗して取材した小説である。作中では、「天皇陛下のお金」で移民する貧しい人々が描かれている。㉕不況下で窮乏する農村に対する危機意識を背景に、政府は渡航費を全額支給して、ブラジル移民を国策として進めたのである。

移民の国策化は、日本による侵略とも結びついた。ウの近郊で関東軍が起こした事件に始まる軍事行動を契機につくられた傀儡国家^{かいらい}の満州国、そして日中戦争以後の占領地へと、開拓団などの農業移民が日本本土から送り出された。

アジア太平洋戦争が始まると、敵国となったアメリカでは、日本人・日系人が強制収容所に隔離され、資産を没収されるなどの扱いを受けた。一方、アメリカ領の工に移住していた日本人は、日本軍の占領・軍政によりいったん支配者側に立った。戦争が、移民の境遇を大きく左右したのである。

問 4 空欄 **ウ** に入る都市の場所と、空欄 **エ** に該当する地域とを次の地図中の a ~ d から選び、その組合せとして正しいものを、下の①~④のうちから一つ選べ。 **32**



- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ウ | a | エ | c | ② | ウ | a | エ | d |
| ③ | ウ | b | エ | c | ④ | ウ | b | エ | d |

日本史B

問 5 下線部㉓に関連して、大正期から戦時期にかけての文化に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

33

- a 総合雑誌『白樺』が創刊され、正岡子規や芥川龍之介が作品を発表して人気を集めた。
- b 1冊1円で売られ円本とよばれた全集本など、低価格で文学作品を読める出版物が人気を集めた。
- c 矢内原忠雄は、政府の戦争政策を批判する論説を発表したため、大学教授の職を追われた。
- d アジア太平洋戦争に協力する美術団体を統合して、日本美術院が創立された。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 6 下線部㉔に関連して、昭和初期から戦時期にかけての経済・社会状況について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

34

- ① アメリカへの生糸輸出の激減により、繭の価格が急上昇した。
- ② 政府は、疲弊した農山漁村への対策として経済更生運動を進めた。
- ③ 日本共産党が、普通選挙制による総選挙で衆議院に議席を得た。
- ④ 日本は金本位制から離脱したため、世界恐慌の影響を直接うけた。

C 日本の敗戦とともに、日本の支配が終結した地域や占領地・戦地にいた日本人は、日本本土への **オ** を指示された。兵役を解かれた将兵の復員が実施されただけでなく、民間人も日本の支配のもとで築いた資産を手放し、帰国せざるを得なくなったのである。一方、この過程で、残留孤児や、抑留・留用(注1)され長く帰国できない人々も生じた。また、朝鮮などの旧植民地から日本本土に移住していた人々は、日本国籍を失い外国人として扱われるようになった。

外国への移民は戦時期にはすでに困難となっていたが、**㊦** 占領期にはGHQによって事実上禁じられた。しかし **カ** の発効により日本が主権を回復すると、南北アメリカ諸国を主たる行き先として国外移民が再開された。だが、日本人の移民は1960年に最多となって以後は急減し、逆に1980年代後半以降は海外から日本への移民が急増していった。このように、グローバル化の進展とともに、日本をめぐる人の移動は新たな状況を迎えている。

(注1) 留用：捕虜や元居留民を現地に残留させて職務に就かせること。

問7 空欄 **オ** **カ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **35**

- ① オ 転向 カ 日米安全保障条約
- ② オ 転向 カ サンフランシスコ平和(講和)条約
- ③ オ 引揚げ カ 日米安全保障条約
- ④ オ 引揚げ カ サンフランシスコ平和(講和)条約

問8 下線部**㊦**に関連して、GHQの占領政策について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **36**

- ① 象徴天皇制の条項を含む憲法改正案を作成し、日本政府に示した。
- ② 思想・言論の自由を認め、占領軍に対する批判も自由に行わせた。
- ③ 寄地主制を解体するため、日本政府に農地改革を実施させた。
- ④ 日本政府に政令201号を公布させ、官公庁の労働者から争議権を奪った。